

2023年度北海道NPOファンド「越智基金」・「市民活動支援基金」 助成要項

<2023年度越智基金公募に寄せて>

選定委員長 田口 晃 (NPO推進北海道会議理事)

軍事費の拡大が端的に示す「新しい戦前」が日本列島を覆う一方、戦争によるインフレは昨年よりもさらに悪化しています。政治的民主主義を支える市民社会の主役であるNPOにも厳しい状況が押し寄せてきそうですが、きっちりと状況を分析し、適切に対応していきましょう。越智基金は24年度に向けても、ウクライナでの出来るだけ早い停戦を望みつつ、世界中の紛争地からの避難者支援を特別枠の対象にします。豪雨や猛暑という形で進む地球環境の劣化を、戦争はさらに進める一大要因であることも忘れないようにしたいと思うのです。最近つくづく考えるのは、日本では一方で既存の制度と既成事実の中に取り込まれて新しい試みをしない(できない)大人が多く、他方で試行錯誤を通じて自分で考え工夫するという成長を意識できない若者が存在するため、社会の活性化、新陳代謝が弱いのではないかと、ということです。そうして、大人も若者も含めた市民活動こそが生き生きとした生活世界を常に新たに作ってゆく担い手であり、NPOはその中心的存在であることに改めて思い至っている次第です。皆様のご活躍に期待します。

<越智さんの想い>

選定委員 佐藤隆 (北海道NPOサポートセンター顧問)

越智基金の提供者である越智さんは、教員出身の人で労働組合の活動家でした。

私は直接お会いしたことはないのですが、越智さんから資金を託された上田文雄弁護士からお話を何度かお聞きしています。8月のこの時期ですから、現在地から越智さんの想いを想像してみることにしました。

未曾有の加害と被害の惨禍をもたらした戦争は、教員たちが大東亜共栄圏建設に向け天皇の赤子として死ぬことを子供たちに教えて奨励したことが大きな役割を果たしました。敗戦後、このことを教訓に越智さんは「子供たちを二度と戦場へ送るな」との思いで教員の労働組合活動を続けていました。いまの状況をどう感じているのかと考えると苦い想いが湧き出ます。

戦争は政治が起こすものですが、平和の創造に市民は無力ではないと思います。名もなき市民による交流や支援こそが平和の基礎となるものでしょう。であれば、ロシアや中国、北朝鮮との交流も絶やしてはいけないと思います。

海外との交流に越智基金が少しでも役立てばと思います。

それにしても、岸田首相の夏休みの読書10冊の中に「地図でスッと頭に入る世界の資源と争奪戦」「アマテラスの暗号」があるとのこと、それにしても・・・。

◆今年度の助成方針

NPO活動助成金（一般公募）応募要項：当基金は、非営利活動団体（NPO）に対して援助を行い、その活動の発展に寄与することを目的としています。助成総額50～70万円程度、1件あたり助成額を1～10万円以内とします。※今年度は、「ウクライナ等国際紛争避難者支援活動特別枠」助成も実施します。各要項をご参照の上、お申し込みください。

◆「越智基金」の趣旨

元北教組書記長・副委員長で札幌地区労働組合協議会議長を長年務められた越智喜代秋さんが、遺言で遺産の一部をNPO活動に寄贈する旨意思表示されました。1999年から2022年までに延べ499団体に対し3,253万円の助成を実施しています。

◆「市民活動支援基金」の趣旨

2016年、認定NPO法人格取得に伴い、北海道NPOファンドは非営利公益活動を支援するために「北のNPO基金」を設立しました。「市民活動支援基金」は北のNPO基金の一部門で、越智基金の後継基金として、道内NPO団体に助成します。

◆応募資格 道内で活動しているNPO（NPO法人・任意団体等）を対象とします。

※一般社団法人・一般財団法人は「非営利型」のみ応募可能です。

※公益性のない事業、営利を目的とした事業、政治団体、宗教団体などは助成の対象となりません。

◆助成金額 総額約60～80万円。最大10団体程度に、1団体1万円～10万円の範囲で助成。また今年度は「ウィズ/ポストコロナ特別枠助成」10万円が含まれます。希望する団体のうち1団体をウィズ/ポストコロナ特別枠として採択します（申請書に希望有無の欄があります）。

◆応募期間 2023年9月4日（月）～9月25日（月）原則としてメールによりご提出ください。郵送による申請もお受けします。9月25日消印有効です。

◆応募方法 応募期間内に応募書類と添付書類を下記提出先までご提出ください。

<添付書類> ① 団体の定款又は会則【必須】

② 前事業年度の事業活動報告書・決算書類【必須】

③ ニュース・会報、団体リーフレット、チラシ等、団体の活動の内容を示す資料（任意）

◆選考方法 書類審査と聞き取りのあと、北海道NPOファンド選定委員会において選考し、助成先を決定します。なお、応募書類受領後、問い合わせをさせていただく場合がございますので、その場合は応答のほどご協力お願いいたします。

◆決定通知 11月上旬（助成先は個別に通知するとともに、北海道NPOファンドホームページ、『北海道NPO情報』等で広報します。応募提出書類は返却いたしません）

◆助成金支払い 11月下旬（予定）

◆助成金の用途等 助成金の用途について特に制限はありません。事業活動経費、機器整備、人件費等、団体の活動目的を達成するために使ってください。ただし、翌年3月までに実施するものに限りません。

◆活用結果報告書の提出 助成先団体におかれましては、助成金活用後、「活用結果報告書」を提出していただきます。なお、ご了解を得たうえで、北海道NPOファンドホームページやパンフレット等で紹介させていただく場合もあります。

◆お問合せ先／応募用紙提出先 応募用紙の提出は郵送、持参またはメールでお願いします。なお、応募用紙は北のNPO基金ホームページからダウンロードすることができます。



https://npoproject.hokkaido.jp/?page_id=289

認定NPO法人北海道NPOファンド

〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園201号室
https://npoproject.hokkaido.jp メール npofund@npo-hokkaido.org
電話 011-200-0973 FAX 011-200-0974 担当：高山